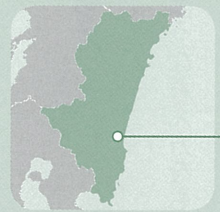


若手委員会による 老連行事の「お助け隊」

宮崎県 宮崎市老人クラブ連合会

● クラブ数 209 クラブ
● 会員数 9230名 (男性3705名、女性5525名)



宮崎県
宮崎市

市老連若手委員会の発足

平成27年4月30日、市老人クラブ連合会に各地区老連会長から推薦された22名による若手委員会が誕生しました。委員には、老人クラブ会員16名と他の組織から「社協役員、生涯学習協議会役員、自治会会長、地域協議会事務局長、体育会事務局長」等が含まれます。若手委員会は、老人クラブにおける会員加入促進及び老人クラブの活性化を図ると共に、組織強化することを目的に設置されました。若手委員会の意見交換では「地域の中で如何

に若手がクラブ活動の担い手になるか等の地道な活動をすることが、クラブの発展の鍵になる」等の意見ができました。

私は地域学習協議会役員をしていましたが、若手委員会の発足に伴い市老連副会長の推薦により参加することになりました。当初老人クラブがどのような活動をしているのか全く分からない白紙の状態でした。

お助け隊、活動開始!

まず1年間、県・市老連行事全てに参加してみようと思い、17の行事に参加しました。

若手委員会がステップアップ出来たのは、宮崎市からの支援と、平成28年度から市老連理事会へ3名の若手委員が理事として就任したことです。第3回若手委員会において、出

席者に行事参加へのアンケートを求めました。趣旨は「市老連の平均年齢が80歳近くになることから、若手委員が行事等のお助けを行い、伝統や伝承が衰退していかないようにしたい」ということで、出来る範囲でのお助け隊への出席をお願いしました。その結果11名(男子8名、女子3名)でのお助け隊の結成となり、市老連理事会にて結成と活動内容を報告いたしました。

お助け隊の活動内容

- 1 各地区老連の行事の準備、片付け
 - ・ 開催一か月前に連絡をお願いします。
 - ・ お助け隊全員が一度には出席できません。
 - ・ 交通費は、各地区老連にてお願いします。
- 2 イチオシ活動の取材に行き、広報紙を作る
- 3 決算書類やパソコンの操作の手助けの依頼を受ける

まず若手委員を皆様にアピール出来るように、若手委員会のネーム入りのジャンパーを作製しました。そして市老連行事である芸能

文化発表会や研修会、スポーツ大会、県老連行事のさんさんクラブ大会等の設営や案内、受付の「お助け」を始めました。

これからに向けて

若手委員はそれぞれの地区の副会長、クラブの副会長や事務局等を担っており、クラブの活性化と潤滑油としての役割をしています。

若手委員会のお助け隊では、県老連行事や市老連行事と共に、今後は各地区老連行事のお助け隊として活動していきます。それぞれのクラブにおける「イチオシ活動」を取材した広報紙の作成、決算書やパソコン操作の勉強会等の活動を続けていきます。

その他若手委員会主催の独自の活動として、各地区老連の若手発掘と会員増強の手段としてのグラウンド・ゴルフ大会を開催しています。さらに若手委員会研修会等で老人クラブの位置づけと公的補助等の勉強会をしていきたいと思っています。

これから若手委員は、地域との取り組みにより会員増強の流れをつくり、クラブの発展と活性化の潤滑油としての役割をすることが大事になってくるように思います。

(若手委員会委員長 小川定範)



「若手委員会」と入ったお揃いのジャンパー



若手委員会主催の行事